

**久留米広域連携中枢都市圏
27年度 第2回ビジョン懇談会 全体会 議事録**

(1) 日 時：平成28年2月15日(月) 14:00～15:20

(2) 場 所：久留米市庁舎 4階 401会議室

(3) 出席者：ビジョン懇談会委員23名(欠席委員：10名)

事務局4名

各市町企画担当職員、各ワーキンググループ職員

※ワーキンググループは以下WGと表記

(4) 次第及び議事： 〔○…委員質問・意見 ●…事務局等回答〕

1. 開会

2. 議事

(1) 各分科会の協議結果の報告について

〔各分科会の協議結果について説明(具体的な事業、成果指標)〕

- 成果指標の説明で、最終年度での目標値が説明されたが、この目標値について、適宜、変更することはできるのか。
- この目標値については、最終年度まで変更できないというものではない。項目及び値について、見直しの必要がある場合は、審議を行った上で、変更することができる。
- 分科会からの意見に対する対応について、「検討」、「研究」の言葉が出てくるが、取組みの具体化、実現に向けて、前向きな姿勢で取組んでいただきたい。
- アンテナショップの東京出店については、両分科会においても、前向きな意見が出ていない。費用のかかる事業でもあるので、しっかりと検討していただき、実のある事業にしていきたい。
- アンテナショップ事業については、各分科会から費用に見合う効果が得られるのかといった心配の声をいただいております、おそらく住民の皆さんについても同様であろうと受けてとめている。アンテナショップについては、どこに出店すべきか、どうもの売っていくのかなど、経営を成り立たせていくための調査をしっかり行い、成功に向けて行政と関係機関との連携を十分に図り、取組んでいく。また、事業の状況については、次回のビジョン懇談会には、事業の詳細を報告させていただく。

(2) 都市圏ビジョン(最終案)の確認について

〔都市圏ビジョン(最終案)について説明〕

- 具体的な取組みについては、分科会に分かれて意見をいただいたが、都市圏ビジョンの中では、一体となって取組んでいくことになる。それぞれ施策は、縦割りではなく、補完関係もしくは相互連携していく必要があると考えている。
具体的には、子育て支援事業は、定住を促す大きな施策の柱であり、子育てに限ったことではなく、雇用やワークライフバランスにも密接に関係する。また、地域医療についても同様のことが言える。
このことから、個々の取組みについては、広く他の施策との連携を意識していただき取組んでいただきたい。
- 都市圏ビジョンを策定の中で、5年後の成果指標の目標値が設定されているが、この5カ年の事

業実施期間中では、成果指標がどのように扱われるのか教えていただきたい。

都市圏ビジョンでは、高度医療圏や農業圏としての特色をまとめられているが、豊かな自然、文化、また、ワークライフバランスを含めた優良な生活圏としての特色を前面に出す必要がある。そのためには、子育て支援などを担う人材育成・確保と就職先となる雇用の場の確保に取り組む必要があると思っている。

また、この圏域は農業圏であるにもかかわらず、農家が高齢化し、就業者が減っているという現状がある。圏域の農産物に付加価値を加え、圏域外に売り出していくアウトバウンドの視点も必要ではないかと思う。このようなことが雇用の創出、そして若年者の定住にも繋がり、好循環に繋がると思っている。

今回策定するビジョンは、5 ㏎年の計画ではあるが、このような取組み実現していくために、随時修正できるような柔軟な対応をお願いする。

- 都市圏ビジョンについては、今回策定したら終わりというのではなく、必要に応じて、成果指標や施策の方向性など都市圏ビジョンの内容を修正していく。成果指標に対する 5 ㏎年中の取組みについては、毎年、目標値に対する達成状況を示させていただき、進捗管理を行っていく。

また、今後、都市圏ビジョンを改定していく際には、いただきましたご意見を含めた圏域の生活環境、雇用環境の好循環に向けた取組みについても、必要に応じて盛り込み、取組んでいきたいと考えている。しかしながら、一度にすべて取組むことは難しいので、各ワーキングでしっかり検討を行うとともに、施策間の連携の視点を持った事業の展開を図っていく。

- この都市圏の特色をもう一度見直して、それによりこの圏域にはどういう雇用の場が創出できるのか、どういう住みやすさが創出できるのかなどの全体を見渡した考察を進めていただきたい。
- P33 以降の取組みについて、成果指標の目標値と事業費見込額は記載されるのか

- 成果指標については、都市圏ビジョン(最終版)には、項目のみを記載し、基準値と目標値については、別資料で整理し公表する。また、事業費見込額については、都市圏ビジョン(最終版)に数値を記載する。

(3) その他

- P55 の人材確保・育成については、自治体職員の人事交流や合同研修となっているが、民間団体との情報交換など、官民一体となった人材育成についても、積極的に取組んでいただきたい。また、この圏域は学園都市としてのポテンシャルが高いことを活かすとともに、教育機関に対して、圏域で必要としている人材のニーズを伝えていくことが必要である。これにより、教育機関では、圏域のニーズにあった人材を中長期的に育成していくことができる。人材育成については、このような自治体だけに留まらない広い視点を持って取組んでいただきたい。
- 以上で審議を終了する。事務局からなにかありますか。

【来年度のスケジュール等について説明】

- これで本日の懇談会は終了する。